

図工だより



6年2組 名前

第2号

府中市立
府中第七小学校
図画工作科
令和 3年
4月21日発行
伊藤 志帆

卒業生が残してくれたもの

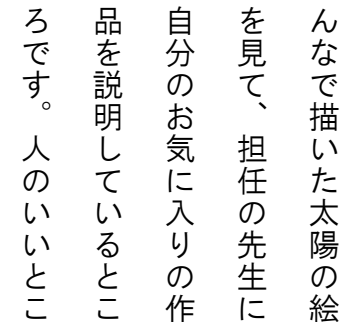
昨年の六年生が、卒業する時に総合的な学習の時間で、給食着をかわいく変身させてくれました。帽子のてっぺんと、白衣のポケットと、白衣を入れる袋に数字を布用の絵の具でステンシルをしてくれました。学年ごとに色を変えたり、数字の大きさやデザインにこだわったり、図工での学習が



生きていると感じました。上の写真は、一年生が初めての給食当番に取り組んでいる様子です。赤い数字がとてもおしゃやれでかわいいです。

一年生

とてもやる気満々の一年生でびつくりしました。よく挙手をして自分の意見を言うことができます。左の写真は、みんなで描いた太陽の絵を見て、担任の先生に自分のお気に入りの作品を説明しているところです。人のいいところを見付けられるのはいいことですね。はさみの使い方も上手です。「ちよきちよきざざり」では折り紙を切ってきた形のよさを楽しみ、満足気な様子で「帰ったらママに見せる。」など言いながら連絡袋に入れていました。



四年生

「絵の具でゆめもよう」では、粉絵の具に挑戦しました。粉絵の具は名前のとおり粉状の絵の具です。指で紙にこすりつけて描くこともできますし、水や洗濯のりなどを混ぜて使うこともできます。今まで使ったことのある絵の具なども併せて使い、どんなことができるか実験しながら描きました。粉絵の具をよく紙に刷り込ませたり、のりを塗った上に粉絵の具をまぶしたりなど、未知の材料に積極的に関わる姿に私も楽しくなりました。



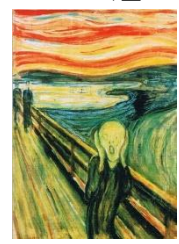
五年生

「心のパレット」では、コンテパステルを使って、気持ちを表す活動をしました。コンテパステルでは、描いたり消したりを繰り返して絵を描くことができます。作品の内容は、高学年になったので少し大人っぽいテーマです。色の組み合わせや重なり、描いたり消したりすることでできる形で、「ドキドキ・わくわく・かなしみ」など、色々な気持ちを表しました。少し難しさを感じている子もいました。具体的な記号や文字ではないものでイメージを伝える力を付けていかなければと思います。



六年生

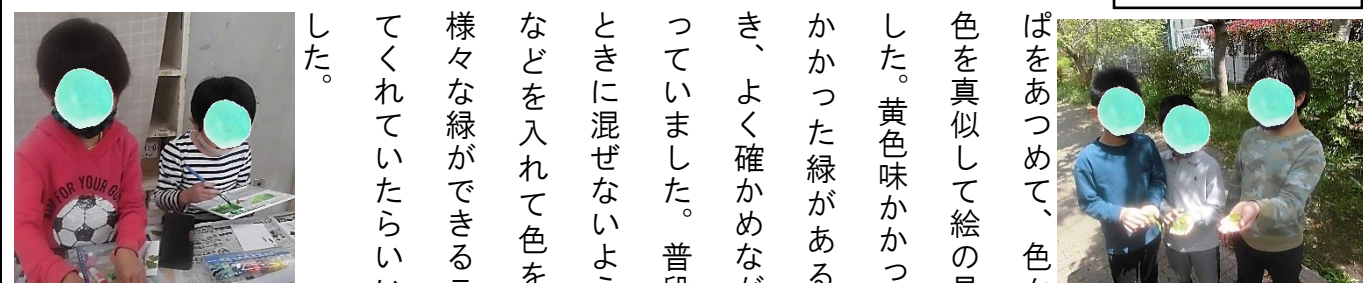
ムンクの「叫び」を鑑賞しました。今まで一度にたくさん作品を鑑賞しましたが、今回は一つの作品をじっくり見る鑑賞をしました。友達と絵から感じたことを話し合うことで、新しい見方に気付いたり、色使いや線の引き方の理由を掘り下げて考えることで、作品の見方を広げたり深めたりしました。積極的に発言ができる子が多いので、活発な意見交換ができ、よい鑑賞になりました。



三輪車ありがとうございます

多くの方に協力いただき、無事目標台数の三輪車を集めることができました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

三年生



「しぜんの色」では、校庭の葉っぱをあつめて、色々な葉っぱの色を真似して絵の具でつくりました。黄色味かかった緑や、赤味かかった緑があることに気付きました。よく確かめながら色をついていました。普段緑色を使うときに混ぜないような、赤や黒などを入れて色をつくと、様々な緑ができることに気付いてくれていたらいいなと思いました。